

奄美市で一番早い運動会

住校区の 保育所・小学校・中学校 地域ぐるみで競技に汗

生徒は赤白に分かれ、地域対抗は▽山間・戸玉▽役勝▽西仲間・石原の3チームに分かれ、計17プログラムが行われた。

競技はへき地保育所園児の「はしりくま」で幕開け。児童生徒らは綱引きや短距離走、全風リレーで競い合い、地域対抗は玉入れ、水くみ競争などがあつた。グラウンド内はチヂン（太鼓）をたいて応援したりハト（指笛）が響き、和やかな笑い声に包まれた。午前の最後は山間青壮年団が中心となり、全校区民による八月踊りと



小中全員でのリレーでアンカーにバトンが渡された

奄美市で一番早い運動会「2025年度第43回住用へき地保育所・住用小学校・住用中学校合同運動会」が25日、住用総合グラウン

ドであった。梅雨の影響もなく天候に恵まれ、保育所園児6人、小学児童15人、中学生徒5人の合計26人の子どもたちと住用校区住民らが地域ぐるみで競技に汗を流した。

六調で地域の交流を深め合った。午後の競技は小学児童全員でエイサーを披露。4月に入学したばかりの1年生も交じえ堂々とした姿を、住民たちは拍手と笑顔でたたえた。

西仲間集落の井上雅仁さん（75）は「子どもたちが少ない校区で、皆一生懸命頑張っていた。各集落の協力もあり大成功だったと思つ」と語り、赤組団長の泉彩羽さん（中3）は「中学最後の運動会。雨が心配だったが天候がよく外のグラウンドでできて良かった」と振り返った。



地区対抗「玉入れ」で子どもたちや地域住民が協力して競った

令和7年5月26日
奄美新聞掲載！